NAGASAKI 2014 in SASEBO, HIRADO

とどけよう
スポーツの力を東北へ！
東日本大震災復興支援

第69回 国民体育大会

長崎がんばらんば国体

軟式野球競技会記録集

日程 平成26年10月18日(土)～21日(火)

会場 佐世保市総合グラウンド野球場
佐世保市吉井野球場
佐世保市千鳥越野球場
平戸市総合運動公園「ライフカントリー」赤坂野球場
平戸市生月町勤労者体育センター

発行・長崎県軟式野球連盟

主催
公益財団法人日本体育協会
文部科学省
長崎県
公益財団法人全日本軟式野球連盟
佐世保市
平戸市

(日体協マーク)

昭和21年に京都府で第１回国民体育大会が開かれ、全国を16ブロックに分け軟式野球競技が行なわれた。
第２回、３回は８チーム参加で、第４回以降は23チーム以上となり九州枠は３となった。一般準硬式の部も第10回から行なわれたが、第29回大会を最後に廃止された。

長崎県で開催されたのは第24回(44年)大会。開催地枠でブロック予選を経ずに三菱重工長崎と長崎県庁(準硬)が出場。県勢として軟式５回目の出場で初勝利を挙げた三菱重工が１点差で３勝してベスト４進出。準決勝戦で優勝した神奈川(厚木自動車部品)に敗れ、順位決定戦も静岡ガスに敗れたが堂々の30チーム中の４位。

一巡した第43回(63年)京都国体から、成年の部が１部と２部に分けられた。翌年(H.元年)の北海道国体からは１部が28から16チームに、２部は16チーム。この年から始まった壮年の部は12チーム参加と一新された。３部とも九州枠は２で、九州８県のミニ国体で２勝と本国体が狭き門となる。

第50回(H.７)福島国体から支部内登録に関係なく補強等を含めた選抜チーム編成ができるようになり、平成11年から成年１部が一般Ａ、２部が一般Ｂ、壮年が成年の部と呼称変更があった。

そして知事会の要望により国体の参加人員が削減されることになり､660人(15人×44チーム)の３部門が、１部門だけとなり、第63回(H.20)大分国体から一般Ａ、Ｂが統合され一般32チーム、成年の部は廃止された。

その大分国体年に始めて『長崎県選抜』チームで九州ミニ国体に臨んだ本県チームは本国体出場を果たした。

右表が前年68回大会までの長崎県チームの国体戦績である。特筆は地元開催の24回(S.44年)の翌年の岩手国体で国体初出場の親和銀行が３試合を１点差勝利して準決勝進出。長野(諏訪精工舎)に敗戦し、三位決定戦は奇しくも前年準決勝で敗れた厚木自動車部品(神奈川)に雪辱は成らなかった。

34回(54年)の宮崎国体は初出場の長崎日野自動車が２勝して準々決勝敗退のベスト８。だが準決勝以降は台風襲来のため行われず４チーム優勝と前代未聞の椿事となった。長崎日野は連続で出場するも初戦敗退。親和銀行が53年以来７年ぶり６度目出場した60年の第40回鳥取国体(参加28)で一回戦から勝ち上がり関門の準決勝では２年前の天皇賜杯決勝戦で田中病院(宮崎)と延長45回の死闘で優勝しているライト工業(東京)を倒して初の決勝進出も、地元開催で全国各地の三洋から補強した鳥取三洋電機には敗退した。

親和銀行は３年後の63年京都国体でも快進撃。３試合を９得点２失点で三度目の準決勝は宮崎に敗退したが、三四位決定戦で勝ち天皇杯(１､２部計)得点５位獲得。

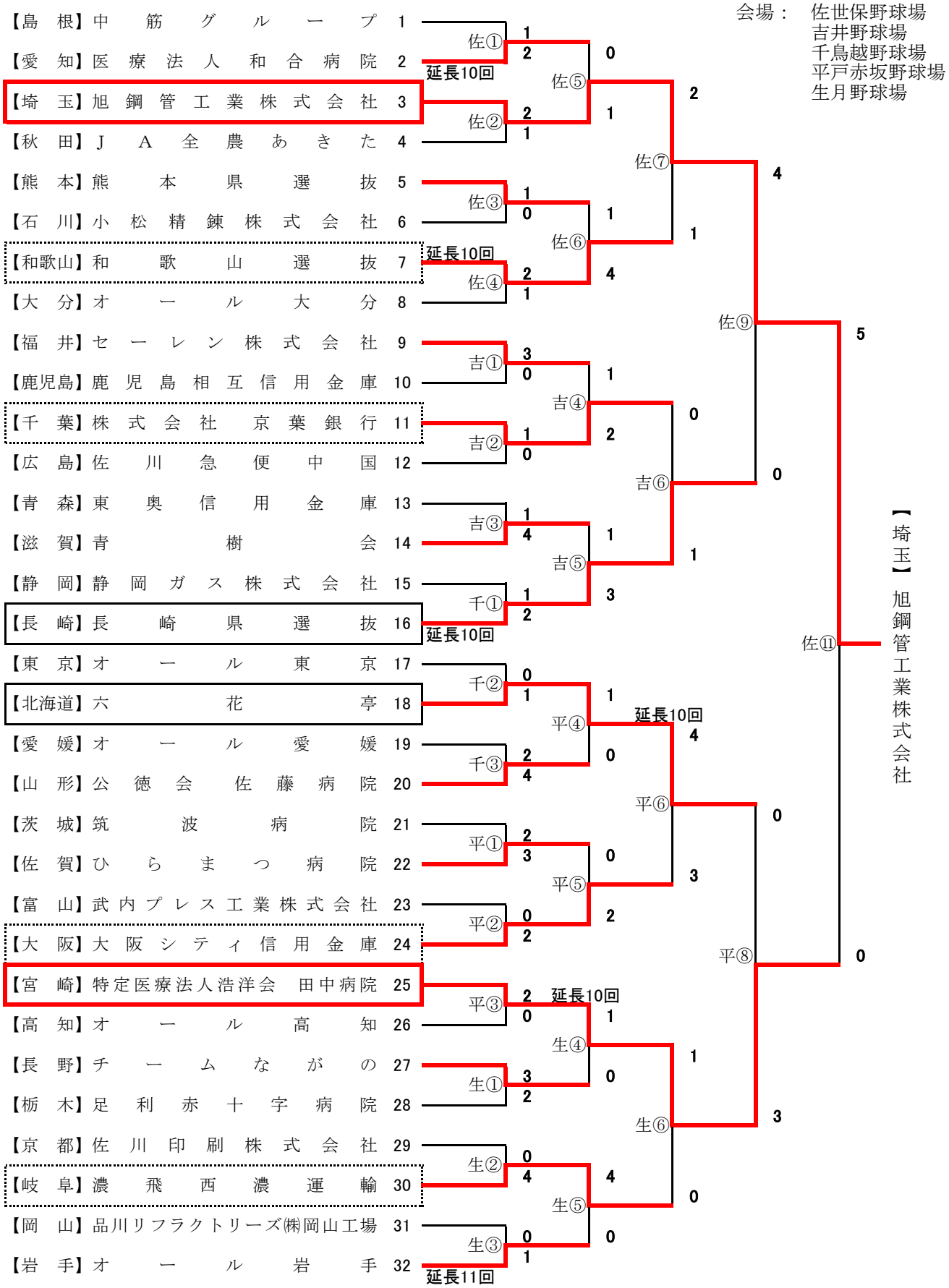
平成元年から前記のように三部制となり九州枠が２でブロック大会での苦戦が続いていたが、７年の第50回福島国体で一二回戦突破。奈良(佐藤薬品)も１点先行されたが逆転勝利。決勝の大阪信金に0-2で二度目の準優勝。

そして前記のとおり20年大分国体より一般部門だけとなり32チーム参加。長崎県選抜チームを編成し大分、千葉と臨んだが好成績を残せなかった。だが翌年に地元開催を控えた25年の東京国体で３年ぶりに九州ブロックを突破。一二回戦を１点差で勝つと石川(コマニー)に６-１と快勝。奈良(佐藤薬品)も先制、中押し点で１点差勝利して18年ぶり三度目の決勝進出。大阪信用金庫に対して９回表まで０－０。裏の大阪は一死後に連安打と四球の満塁で三塁前に打球が弾みサヨナラ敗戦した。

回	年度	開催地	本県代表チーム	試合	ｽｺｱ	相手
10	S. 30	神奈川	長崎刑務所	【一】	0-2	福島
13	33	富山	住友潜龍鉱業所	【二】	0-4	愛媛
17	37	岡山	西肥自動車	【一】	3-5	茨城
21	41	大分	藤岡石油店	【一】	0-1	三重
24	44	長崎	三菱重工長崎	【一】	1-0	岐阜
				【二】	2-1	石川
				【準々】	1-0	群馬
				【準】	0-1	神奈川
				【三位】	0-3	静岡
		(準硬)	長崎県庁	【二】	0-2	愛知
25	45	岩手	親和銀行	【一】	2-1	山形
				【二】	1-0	群馬
				【準々】	2-1	京都
				【準】	1-3	長野
				【三位】	0-1	神奈川
26	46	和歌山	親和銀行②	【一】	10-0	岩手
				【二】	1-2	石川
27	47	鹿児島	三菱重工長崎②	【一】	1-3	秋田
28	48	千葉	親和銀行③	【一】	0-2	長野
29	49	茨城	松早石油店	【一】	1-2	青森
30	50	三重	親和銀行④	【一】	3-4	群馬
33	53	長野	親和銀行⑤	【一】	2-4	福島
34	54	宮崎	長崎日野自動車	【一】	4-1	福井
				【二】	2-0	群馬
				【準々】	0-6	千葉
35	55	栃木	長崎日野自動車	【一】	2-3	茨城
39	59	奈良	三菱重工長崎③	【一】	3-2	千葉
				【二】	1-2	北海道
40	60	鳥取	親和銀行⑥	【一】	4-0	石川
				【二】	8-0	徳島
				【準々】	4-0	奈良
				【準】	3-2	東京
				【決】	0-5	鳥取
42	62	沖縄	親和銀行⑦	【一】	1-3	山梨
43	63	京都	親和銀行⑧	【一】	4-0	山形
				【二】	3-1	京都
				【準々】	2-1	長野
				【準】	0-4	宮崎
				【三位】	4-2	山梨
46	H. 3	石川	親和銀行⑨	【一】	1-2	石川
50	7	福島	親和銀行⑩	【一】	1-0	石川
				【二】	4-1	福島
				【準】	2-1	奈良
				【決】	0-2	大阪
57	14	高知	親和銀行⑪	【一】	1-5	高知
63	20	大分	長崎県選抜	【一】	4-2	栃木
				【二】	2-3	大分
65	22	千葉	長崎県選抜	【一】	3-4	福井
68	25	東京	長崎県選抜	【一】	2-1	山口
				【二】	2-1	山形
				【準々】	6-1	石川
				【準】	2-1	奈良
				【決】	0-1	大阪

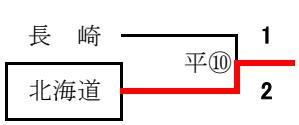
◆成年２部(一般Ｂ)および壮年(成年)は本国体の出場なし◆

会場：　佐世保野球場
吉井野球場
千鳥越野球場
平戸赤坂野球場
生月野球場

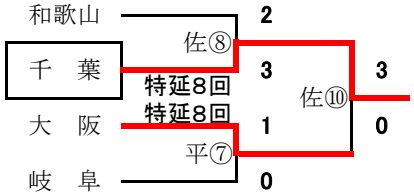


順位決定戦

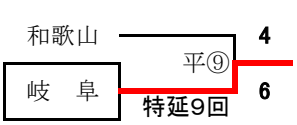
【三、四位決定戦】



【五、六位決定戦】



【七、八位決定戦】



10月18日（土）	一回戦　16試合	佐世保＝４　吉井＝３　千鳥越＝３　平戸赤坂＝３　生月＝３

【一回戦①】　佐世保①　【審判】藤山(諫早)、天野(佐世保)、荒木(佐世保)、法村(佐世保)

開始 07:51	終了 10:35	所要 ２時間31分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
島根	中筋グループ		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
愛知	医療法人和合病院		0	0	0	0	0	1	0	0	0	1x	2

(島根)岩根－野々村　(愛知)山口{９回}、松浦{１回}－山田

【二塁打】山田直也(島)、貝本智顕(愛)

【一回戦②】　佐世保②　【審判】高木(熊本)、鮎川(佐世保)、川本(佐世保)、北川(福江)

開始 10:57	終了 13:21	所要 ２時間24分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
埼玉	旭鋼管工業株式会社		0	0	0	1	1	0	0	0	0		2
秋田	ＪＡ全農あきた		0	0	0	0	0	0	0	1	0		1

(埼玉)中村－吉田
(愛知)渡部{８回}、中野{１回}－加賀

【一回戦③】　佐世保③　【審判】石崎(佐世保)、堀(佐世保)、中山(佐世保)、荒木(福江)

開始 13:42	終了 15:47	所要 ２時間05分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
熊本	熊本県選抜		0	0	0	0	0	0	0	0	1		1
石川	小松精錬株式会社		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0

(熊本)田浦－栗崎
(石川)西井－櫻谷

【一回戦④】　佐世保④　【審判】藤瀬(佐世保)、吉永(佐世保)、鴨川(佐世保)、原(上五島)【外＝６回～】天野、北川(福江)

開始 16:06	終了 18:38	所要 ２時間24分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
和歌山	和歌山選抜		0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
大分	オールル大分		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

(和歌山)高野{８回}、太田{２回}－川越　(大分)松延－菅原

【特記】ルール確認のため５分間中断(16:27～)　選手負傷のため３分間中断(17:16～)　６回表より点灯試合

【三塁打】川越彰吾(和歌山)
【二塁打】森本祥太(和)、武田靖弘(大)

【一回戦⑤】　吉井①　【審判】渡辺(東彼)、藤田(東彼)、中原(東彼)、一川(東彼)【外審】瀬井(東彼)、中島(東彼)

開始 07:58	終了 10:18	所要 ２時間20分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
鹿児島	鹿児島相互信用金庫		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
福井	セーレン株式会社		1	1	1	0	0	0	0	0	X		3

(鹿児島)久保田{２回}、中島{４回}、中原{２回}－奥村　(福井)中屋{５回}、鈴木{４回}－石本

【本塁打】中屋勝久(福井)
【二塁打】迫龍来(鹿)、壽畑裕(福)

【一回戦⑥】　吉井②　【審判】斉藤(諫早)、渕瀬(西海)、森田(諫早)、鮎川(諫早)【外審】木村(大村)、辻(東彼)

開始 10:40	終了 12:10	所要 １時間30分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
広島	佐川急便中国		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
千葉	株式会社京葉銀行		1	0	0	0	0	0	0	0	X		1

(広島)田島{７回}、北山{１回}－宇根田　(千葉)佐瀬－兵藤

【本塁打】高橋和広(千葉)＝先頭打者
【二塁打】宇根田将(広島)

【一回戦⑦】　吉井③　【審判】山口(西海)、西條(鹿児島)、横山(西海)、春下(西海)【外審】松本(壱岐)、西村(大村)

開始 12:37	終了 14:47	所要 ２時間10分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
青森	東奥信用金庫		0	0	0	0	0	0	1	0	0		1
滋賀	青樹会		0	2	0	0	0	0	2	0	X		4

(青森)宮下（２回1/3）山口－斎藤　(滋賀)大槻－川満

【本塁打】蒲池良紀(滋賀)
【二塁打】斎藤雄大(青森)

【一回戦⑧】　千鳥越①　【審判】小林(鳥取)、前西原(沖縄)、下南(和歌山)、海老原(宮崎)【外審】金川(県北)、小峰(諫早)

開始 07:47	終了 10:40	所要 ２時間53分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計	盗	犠	振	残	失	併
静岡	静岡ガス株式会社		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	6	5	2	2
長崎	長崎県選抜		0	0	0	0	0	1	0	0	0	1x	2	1	4	4	11	2	0

【三】志田卓也(静)【二】志田卓也、豊田克己(静)　山口宰(長)

静岡は二回、先頭志田が中越え三塁打。遊ゴロ一死後に樋口の遊ゴロで本塁を陥れ先制点を挙げた。三回は二死から瀧本の左線打に死球の二三塁を逸すると四回にも先頭志田の二塁打を犠打三進させたが捕手牽制球死で加点できず、六回も山田、田原の連続内野安打の一二塁も併殺に倒れた。同点とされた七回も樋口と豊田が短長打の二死二三塁も三ゴロで無得点。

長崎は初回２死球の二死一二塁や、二回も一死後の連続四球を犠打で進め上位に廻したが凡退。三回にも先頭死球から中村の犠打に吉田が右安打の二死一三塁も三ゴロに終わった。

だが六回先頭北田が二塁内野安打に二盗。投ゴロ三進と四球の一三塁に野村の二ゴロの間に還り同点とした。十回は先頭植杉の左安打が逸する間に二進。捕飛後に犠打三進のサヨナラ機は一飛。11回表に先頭瀧本が安打と二盗の一死三塁は三振と三本間挟殺の併殺。その裏の長崎は一死後に敵失と山口の左中間二塁打に四球の満塁で代打永田の四球押し出しでサヨナラ決着した。

【静　岡】	打	安	点	球
⑧ 瀧　本	5	2	0	0
⑦ 山　田	3	1	0	1
9 川　野	1	0	0	0
③7 田　原	5	1	0	0
⑥ 志　田	4	2	0	0
⑨ 上　嶋	2	0	0	0
H3 柴　田	1	0	0	0
④ 樋　口	4	1	1	0
② 笹　倉	4	0	0	0
① 豊　田	4	1	0	0
⑤ 大　石	4	0	0	0
	37	8	1	1

【長　崎】	打	安	点	球
⑨ 鳥　越	4	0	0	1
④ 稲　澤	2	0	0	2
③ 中　村	3	0	0	0
⑧ 北　田	4	1	0	1
② 吉　田	5	1	0	0
R 磯	0	0	0	0
⑤ 山　口	4	1	0	1
⑥ 野　村	3	1	1	2
① 今　村	3	0	0	1
H 永　田	0	0	1	1
⑦ 植　杉	3	2	0	0
	31	6	2	9

【一回戦⑨】　千鳥越②　【審判】千住(諫早)、北島(県北)、東川(県北)、中倉(県北)【外審】原川(長崎)、豊里(長崎)

開始 11:02	終了 12:43	所要 1時間41分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
東京	オール東京		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
北海道	六花亭		0	0	0	0	1	0	0	0	X		1

(東京)近藤{7回}、大城{1回}－清水　(北海道)橋本{6回}、藤丸{2回}、片山{1回}－松岡

【本塁打】堀野雄一郎(北海道)

【一回戦⑩】　千鳥越③　【審判】前川(県北)、金川(県北)、川本(県北)、山崎(県北)【外審】田中(諫早)、大田(長崎)

開始 13:02	終了 15:08	所要 2時間06分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
山形	公徳会佐藤病院		2	0	0	0	0	2	0	0	0		4
愛媛	オール愛媛		0	1	0	0	1	0	0	0	0		2

(山形)佐藤{6回}、橋本{3回}－安部　(愛媛)川西－越智

【本塁打】亀窟博敏(愛媛)
【二塁打】古澤浩希、安部隆太(山形)

【一回戦⑪】　平戸①　【審判】山下(長崎)、谷端(諫早)、河村(諫早)、林田(諫早)

開始 07:58	終了 10:20	所要 2時間22分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
佐賀	ひらまつ病院		0	0	0	3	0	0	0	0	0		3
茨城	筑波病院		0	0	0	0	0	2	0	0	0		2

(佐賀)古館－武田　(茨城)加藤{5回}、宮崎{4回}－越智

【二塁打】川副雄一(佐賀)

【一回戦⑫】　平戸②　【審判】阿蘇(佐賀)、原田(諫早)、正木篤(平戸)、藤島(対馬)

開始 10:40	終了 13:03	所要 2時間23分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
大阪	大阪シティ信用金庫		0	0	1	0	0	0	0	1	0		2
富山	武内プレス工業株式会社		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0

(大阪)岸本－豊岡　(富山)松下－布施

【二塁打】吉田哲也(大阪)

【一回戦⑬】　平戸③　【審判】小田(平戸)、正木康寛(平戸)、折元(諫早)、川﨑(対馬)

開始 13:24	終了 15:37	所要 2時間13分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
宮崎	特定医療法人浩洋会田中病院		0	0	1	0	0	0	0	1	0		2
高知	オール高知		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0

(宮崎)仙田山－直野　(高知)西川－大谷

【二塁打】石山大作、上田和秀(宮崎)

【一回戦⑭】　生月①　【審判】兼本(島原)、杉野(県南)、島田(島原)、宮崎(県南)【外審】冨田(松浦)、井戸(松浦)

開始 07:59	終了 10:07	所要 2時間08分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
長野	チームながの		0	0	0	0	0	0	0	0	3		3
栃木	足利赤十字病院		0	2	0	0	0	0	0	0	0		2

(長野)渡辺－安保{7回}、松崎{2回}　(栃木)生井－宮本

【二塁打】横沢成治郎、笠井達也(長野)
末松浩由(栃木)

【一回戦⑮】　生月②　【審判】衛藤(大分)、木下(長崎)、森川(長崎)、野崎(長崎)【外審】中野(松浦)、田崎(松浦)

開始 10:28	終了 13:00	所要 2時間32分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
岐阜	濃飛西濃運輸		0	0	0	0	0	0	3	1	0		4
京都	佐川印刷株式会社		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0

(岐阜)梶原{8回}、田中{1回}－竹内　(京都)堀渕{7回}、佐々木{1回}、樋上{1回}－東

【二塁打】日置聡、中道大輔(岐阜)
上林達也(京都)

【一回戦⑯】　生月③　【審判】長谷川(松浦)、泉頭(松浦)、松浦(松浦)、森(松浦)【外審】深川(松浦)、中野(松浦)

開始 13:17	終了 15:56	所要 2時間38分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	11	計
岡山	品川リフラクトリーズ㈱岡山工場		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岩手	オール岩手		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1x	1

(岡山)直原－川原　(岩手)小原－工藤

【二塁打】工藤和宏(岩手)

10月19日（日）	二回戦/8試合　準々決勝戦/4試合	佐世保＝3　吉井＝3　平戸＝3　生月＝3

【二回戦①】　佐世保⑤　【審判】中山(佐世保)、荒木(佐世保)、高木(熊本)、松本(壱岐)

開始 07:51	終了 10:03	所要 2時間12分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
埼玉	旭鋼管工業株式会社		0	0	0	0	0	0	0	1	0		1
愛知	医療法人和合病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0

(埼玉)松田－吉田　(愛知)山口{8回}、松浦{1/3}、水野{2/3}－山田

【二塁打】前川孝徳(埼玉)

【二回戦②】　佐世保⑥　【審判】川本(佐世保)、藤山(諫早)、吉永(佐世保)、鮎川(佐世保)

開始 10:23	終了 12:35	所要 2時間12分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
和歌山	和歌山選抜		0	0	2	0	0	0	0	0	2		4
熊本	熊本県選抜		0	0	1	0	0	0	0	0	0		1

(和歌山)太田－川越　(熊本)田浦{7回}、須本{1回2/3}、澤村{1/3}－栗崎

【三塁打】川越彰吾(和歌山)
【二塁打】前田友輝(和歌山)

【二回戦③】　吉井④　【審判】森田(諫早)、斉藤(諫早)、西條(鹿児島)、鮎川(諫早)【外審】中島(東彼)、辻(東彼)

開始 07:55	終了 10:00	所要 2時間05分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
千葉	株式会社	京葉銀行	0	1	0	0	1	0	0	0	0		2
福井	セーレン株式会社		0	0	0	0	0	1	0	0	0		1

(千葉)佐瀬－兵藤　(福井)中屋{８回}、中田{１回}－石本

【本塁打】濱田光夫(千葉)
【二塁打】長谷川直史(千葉)

【二回戦④】　吉井⑤　【審判】前西原(沖縄)、下南(和歌山)、海老原(宮崎)、小林(鳥取)【外審】中嶋(大村)、山口(西海)

開始 10:23	終了 13:09	所要 2時間46分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計	盗	犠	振	残	失	併
長崎	長崎県選抜		1	2	0	0	0	0	0	0	0		3	0	1	2	7	0	0
滋賀	青樹会		0	0	1	0	0	0	0	0	0		1	0	2	6	6	1	0

【三塁打】伴和也
【二塁打】野村健太郎
磯祐一郎

【長崎】	打	安	点	球
⑦ 植杉	5	1	1	0
⑨ 稲澤	4	1	0	0
⑤ 山口	4	2	0	0
⑧ 北田	4	0	0	0
③2 坂田	4	0	0	0
② 古賀	2	0	0	1
R 鳥越	0	0	0	0
3 中村	1	0	0	0
⑥ 野村	3	1	0	1
① 桑原	1	0	0	0
H 大山	1	0	0	0
1 岩見	0	0	0	0
1 今村	1	0	0	0
④ 磯	4	2	1	0
	34	7	2	2

投手	回数	者	数	安	振	球
桑原	5	19	89	3	1	3
岩見	2 1/3	10	41	2	2	2
今村	1 2/3	5	15	0	3	0

初回二死後に山口が中安打し北田の右飛失(三進)で還り幸先の先取点を挙げた長崎は、続く二回にも一死から野村の右越え二塁打を犠打三進後に磯が左中間突破。更に植杉も左適時打し点差を広げた。

その後の得点機は三度。五回先頭の磯が左安打し二ゴロ二進は二死後。六回は二死から古賀、野村の連続死四球に捕逸で二三塁としたが代打大山が三振に倒れた。七回にも二死後に稲澤、山口の連続左安打も主軸の北田が三振に討ち取られた。

対する滋賀は三回に先頭が四球。犠打と一ゴロの二死三塁に一巡した増田晃の中前適時打。続く四球の２走者が捕逸で進塁して３番西田は三ゴロに終わった。四回も先頭が四球出塁し犠打と一ゴロの二死三塁も右飛。五回は二死後、六回は先頭が安打出塁するも二盗死などで進塁を阻まれた。

長崎は六回先頭から岩見が登板。七回一死後、伴に右三塁打されるも凌いで死守。八回先頭に死球を与え、これまで３安打の増田晃を三振に斬ったが、続く２番に四球で一死一二塁。ここで前日延長11回を投げ切った今村がリリーフし遊ゴロ二封と三振で好救援すると、最終の九回も連続三振と左飛に仕留めて二回戦を突破した。

【滋賀】	打	安	点	球
⑥4 増田晃	4	3	1	0
⑤ 増田恭	2	1	0	2
⑨ 西田	4	0	0	0
③ 蒲池	3	0	0	1
② 川満	3	0	0	0
⑦ 伴	4	1	0	0
①6 大槻	3	0	0	1
⑧ 亀田	2	0	0	0
④ 高橋	2	0	0	1
1 中河	0	0	0	0
	27	5	1	5

投手	回	者	球数	安	振	球
大槻	8	34	116	7	2	2
中河	1	3	10	0	0	0

※所属の「三菱」は三菱重工長崎、「親和」は親和銀行

長崎県選抜	背	位置	氏名	齢	所属	19	捕手	坂田竜徳	23	三菱	0	外野手	植杉真行	21	三菱
	30	監督	中村勉	36	三菱	28	〃	吉田光太	30	親和	1	〃	北田亮佑	25	親和
	10	主将	古賀太一	30	親和	3	内野手	野村健太郎	30	親和	23	〃	鳥越章弘	29	親和
	16	投手	今村賢	21	三菱	7	〃	磯祐一郎	23	親和	24	〃	稲澤和也	22	三菱
	17	〃	岩見諒	23	三菱	8	〃	山口宰	24	三菱	25	〃	永田勝厳	33	親和
	18	〃	桑原隆史	31	親和	9	〃	大山駿	18	三菱	【コーチ】香田正宣(三菱)、林田大輔(親和)				

【二回戦⑤】　平戸④　【審判】阿蘇(佐賀)、前川(県北)、小峰(諫早)、正木康寛(平戸)

開始 07:58	終了 10:08	所要 2時間10分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
山形	公徳会佐藤病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
北海道	六花亭		0	0	0	1	0	0	0	0	X		1

(山形)後藤{６回}、川崎{２回}－安部　(北海道)斉藤{５回}、藤丸{３回}、片山{１回}－松岡

【二塁打】松岡宏泰(北海道)

【二回戦⑥】　平戸⑤　【審判】谷端(諫早)、千住(諫早)、山下(長崎)、河村(諫早)

開始 10:28	終了 12:49	所要 2時間17分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
佐賀	ひらまつ病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
大阪	大阪シティ信用金庫		0	1	0	0	0	1	0	0	X		2

(佐賀)古館{６回}、佐藤{２回}－武田　(大阪)柴田－豊岡

【二塁打】吉田哲也、中原弘喜(大阪)

【二回戦⑦】　生月④　【審判】杉野(県南)、兼本(島原)、島田(島原)、宮崎(県南)【外審】井戸(松浦)、泉頭(松浦)

開始 07:53	終了 09:53	所要 2時間00分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
宮崎	特定医療法人浩洋会 田中病院		0	0	0	0	0	0	0	0	1		1
長野	チームながの		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0

(宮崎)仙田山－直野　(長野)渡辺－松崎

【三塁打】石山大作(宮崎)

【二回戦⑧】　生月⑤　【審判】衛藤(大分)、森保(長崎)、坂本(長崎)、土屋(長崎)【外審】中野(松浦)、森(松浦)

開始 10:14	終了 12:35	所要 2時間21分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
岩手	オール岩手		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
岐阜	濃飛西濃運輸		0	0	0	0	0	3	1	0	X		4

(岩手)小原{６回}、東山{１回}、佐々木{１回}－工藤　(岐阜)梶原{７回}、田中{２回}－竹内

【準々決勝①】　佐世保⑦　【審判】鴨川(佐世保)、岩永(佐世保)、藤瀬(佐世保)、堀(佐世保)

開始 13:07	終了 15:42	所要 2時間35分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
埼玉	旭鋼管工業株式会社		0	0	2	0	0	0	0	0	0		2
和歌山	和歌山選抜		0	0	0	0	0	0	1	0	0		1

【二塁打】根本康成(埼玉)

(埼玉)内田{５回2/3}、中村{１回1/3}、松田{２回}－吉田　　(和歌山)高野{７回}、太田{２回}－川越

【準々決勝②】　吉井⑥　【審判】下南(和歌山)、海老原(宮崎)、小林(鳥取)、前西原(沖縄)【外】西村(大村)、木村(大村)

開始 13:40	終了 16:24	所要 1時間44分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計	盗	犠	振	残	失	併
千葉	株式会社京葉銀行		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	1	1	2	0	1
長崎	長崎県選抜		0	1	0	0	0	0	0	0	X		1	0	4	6	7	0	0

【二塁打】磯(長崎)

【千葉】

	打	安	点	球
④高橋	4	0	0	0
③中原	3	0	0	1
⑦山﨑純	3	0	0	0
⑤濱田	2	0	0	1
⑨長谷川	2	0	0	0
⑧伊藤	3	0	0	0
②兵藤	3	1	0	0
①山﨑佑	2	0	0	0
H櫻井	1	0	0	0
1佐瀬	0	0	0	0
⑥雪下	2	0	0	0
H鈴木	1	0	0	0
	26	1	0	2

投手	回	者	数	安	振	球
山﨑	7	28	93	6	6	0
佐瀬	1	4	12	1	0	0

長崎の今村が１安打完封。奪三振は１の打たせて取る投法にバックも無失策で応えた。特に初回は一死後の四球走者を三直併殺でピンチを凌ぐと、二回は先頭四球に三犠打二進も連続投ゴロに抑えた。唯一の安打は五回二死後に７番兵藤に左安打されるも後続を二飛。塁に出したのは３回で後の６回は三者凡退に仕留め九回を89球で仕上げた。

これに打線が呼応した。初回先頭鳥越が投手内野安打し投ゴロ野選の無死一二塁は千葉の山﨑に三者三振を喫して先制機は実らなかったが、続く二回に先頭山口が左安打。投手と捕手への連続犠打で三進した後に、今村と同期同僚の植杉が左安打し３歳先輩同僚の山口を迎え入れた。その後は無得点となったが三者凡退は四、六回の二度だけで毎回安打し全国強豪の京葉銀行にプレッシャーをかけた。

前試合では９番で２安打の磯が２番に上がり、三回の先頭で中安打し犠打と右飛で三進するも吉田は捕邪飛に仕留められ、五回二死後には磯が右越え二塁打。ここも後続無く、七回一死後に今村も初球を左安打したが二進できなかった。八回は代った佐瀬に対し、先頭の磯が試合３安打目を左にと打ち分け監督の中村が２本目の投犠打で得点圏に進めたが、後続は無かった。

京葉銀行は、２年前の岐阜国体決勝で愛知(ﾆｯｾｲ)に0-1敗戦。昨年の天皇賜杯鳥取大会では優勝。本年の愛媛大会でも決勝戦進出しSECカーボン(京都)に0-1準優勝の強豪だった。

【長崎】

	打	安	点	球
⑨鳥越	4	1	0	0
④磯	4	3	0	0
③中村	2	0	0	0
⑧北田	4	0	0	0
②吉田	4	0	0	0
⑤山口	3	1	0	0
⑥野村	2	0	0	0
①今村	2	1	0	0
⑦植杉	3	1	1	0
	28	7	1	0

投手	回	者	数	安	振	球
今村	9	29	89	1	1	2

【準々決勝③】　平戸⑥　【審判】田中(諫早)、正木篤(平戸)、小田(平戸)、川久保(平戸)

開始 13:24	終了 16:21	所要 2時間57分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
大阪	大阪シティ信用金庫		0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	3
北海道	六花亭		0	0	0	0	0	1	0	0	2	1x	4

【本塁打】英祥平(北海道)
【二塁打】井山、大原、豊岡、津田(大阪)
五十公野(北海道)

(大阪)浦本{７回}、森脇{２回1/3}、岸本{0/3}－豊岡　(北海道)橋本{３回}、藤丸{４回}、片山{２回}、斉藤{１回}－松岡

【準々決勝④】　生月⑥　【審判】辻田(松浦)、田崎(松浦)、深川(松浦)、中野(松浦)【外審】冨田(松浦)、松浦

開始 13:06	終了 15:08	所要 2時間02分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
宮崎	特定医療法人浩洋会田中病院		0	0	0	0	0	0	0	1	0		1
岐阜	濃飛西濃運輸		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0

【本塁打】直野祐介(宮崎)
【二塁打】長友孝能(宮崎)

(宮崎)吉田{７回}、仙田山{２回}－直野　　(岐阜)吉田{８回}、田中{１回}－竹内

10月20日（月）	順位決定戦/４試合　　準決勝/２試合	佐世保＝３　平戸＝３

【順位決定戦①】佐世保⑧　【審判】天野(佐世保)、吉永(佐世保)、川本(佐世保)、永井(佐世保)

開始 08:23	終了 10:20	所要 1時間57分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
和歌山	和歌山選抜		0	0	0	0	0	0	0	2		2
千葉	株式会社京葉銀行		0	0	0	0	0	0	0	3x		3

延長八回は
無死満塁制
特別延長戦

【順位決定戦①】平戸⑦　【審判】島田(島原)、兼元(島原)、山辺(県北)、辻田(松浦)

開始 08:25	終了 10:24	所要 1時間59分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
岐阜	濃飛西濃運輸		0	0	0	0	0	0	0	0		0
大阪	大阪シティ信用金庫		0	0	0	0	0	0	0	1x		1

延長八回は
無死満塁制
特別延長戦

【５、６位決定戦】佐世保⑩　【審判】岩永(佐世保)、藤瀬(佐世保)、中山(佐世保)、法村(佐世保)

開始 13:26	終了 15:00	所要 1時間34分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
大阪	大阪シティ信用金庫		0	0	0	0	0	0	0			0
千葉	株式会社京葉銀行		0	3	0	0	0	0	0			3

【７、８位決定戦】平戸⑨　【審判】前川(県北)、山下(長崎)、長谷川(松浦)、小田(平戸)

開始 13:17	終了 15:51	所要 2時間34分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
岐阜	濃飛西濃運輸		1	0	0	0	0	0	0	3	2	6
和歌山	和歌山選抜		0	1	0	0	0	0	0	3	0	4

延長八、九回は
無死満塁制
特別延長戦

【準決勝①】　佐世保⑨　　【審判】海老原(宮崎)、小林(鳥取)、前西原(沖縄)、下南(和歌山)

開始 10:47	終了 13:09	所要 2時間22分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計	盗	犠	振	残	失	併
埼玉	旭鋼管工業株式会社		0	0	2	0	2	0	0	0	0		4	3	2	2	10	0	1
長崎	長崎県選抜		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	1	7	3	0	0

【二塁打】渡昌也(埼玉)

【埼玉】	打	安	点	球
⑧ 根本	5	0	0	0
④ 伊志嶺吉	4	2	0	0
H4 伊志嶺孝	1	1	0	0
⑥ 江川	5	4	0	0
③ 前川	3	1	0	0
⑤ 三澤	5	2	4	0
⑦ 渡	4	2	0	0
⑨ 橋本	3	1	0	1
① 中村	3	1	0	0
H 八巻	1	0	0	0
1 佐藤	0	0	0	0
② 吉田	4	0	0	0
	38	14	4	1

投手	回	者	球数	安	振	球
中村	7	22	101	0	7	1
佐藤	2	8	17	1	0	1

長崎は埼玉の左腕・中村に対して四回まで４三振無走者と完全に抑えられた。五回先頭の北田が四球出塁し代打中村の捕前バントで二進するも後続無く、七回までに７三振で打球は外野まで飛ばなかった。

八回から登板の佐藤に対し先頭の中村が死球で出るも連続の二ゴロで三塁を踏んだのが初めて。九回一死後に鳥越の左直が初の外野打球となり、二死後に六回から守備している稲澤が中前打してノーヒット・ノーランだけは免れたが、山口の打球は力なく左飛に終わった。

埼玉の三者凡退は四回と七回の二度だけで、７イニングで14安打と良く打った。得点機は五度あり、二回は一死後に渡の左中間二塁打に死球と投手内野安打の一死満塁。ここは浅い中飛と投ゴロで無得点。先制点は三回。先頭伊志嶺吉の左前打に江川の二塁内野安打。４番の前川の犠打で進めて三澤が中前に２点タイムリー打。

中押し点は五回。この回から登板の今村に先頭の伊志嶺吉と江川が連続左安打し、前川が２打席連続の投前バントで進めると、三澤の左前打で二者が還った。八回も先頭の渡と橋本が連安打の無死一三塁の好機は代打八巻の二直併殺打で逸し、九回一死後に代打の伊志嶺孝と試合４安打目となる江川の連打で二三塁と攻め立てたが、遊ゴロで本塁を突いた三走が憤死し加点できなかった。

【長崎】	打	安	点	球
⑨ 鳥越	4	0	0	0
④ 磯	2	0	0	0
4 稲澤	2	1	0	0
⑤ 山口	4	0	0	0
⑧ 北田	2	0	0	1
③ 坂田	1	0	0	0
H3 中村	0	0	0	1
② 吉田	3	0	0	0
⑥ 野村	3	0	0	0
① 桑原	1	0	0	0
1 今村	2	0	0	0
⑦ 植杉	3	0	0	0
	27	1	0	2

投手	回	者	数	安	振	球
桑原	4	19	65	6	1	1
今村	5	22	84	8	1	0

【準決勝②】　平戸⑧　　【審判】田中(諫早)、谷端(諫早)、千住(諫早)、正木篤(平戸)

開始 10:48	終了 13:00	所要 2時間12分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
宮崎	特定医療法人浩洋会 田中病院		0	0	0	0	0	0	0	0	3		3
北海道	六花亭		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0

【二塁打】松岡宏泰(北海道)

(宮崎)仙田山－直野　　(北海道)片山{６回}、斉藤{２回}、藤丸{１回}－松岡

10月21日（火）　３、４位決定戦/１試合(平戸)　決勝/１試合(佐世保)

【３、４位決定戦】平戸⑩　　【審判】下南(和歌山)、前西原(沖縄)、小林(鳥取)、海老原(宮崎)　　延長８回は無死満塁制特別延長

開始 08:54	終了 11:37	所要 2時43分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計	盗	犠	振	残	失	併
北海道	六花亭		0	0	1	0	0	0	0	1		2	0	0	6	7	0	0
長崎	長崎県選抜		0	1	0	0	0	0	0	0		1	0	2	3	14	0	2

【三塁打】　英祥平(北)
　　北田亮佑(長)
【二塁打】　松岡宏泰(北)

【北海道】	打	安	点	球
② 松岡	4	1	1	0
④ 英	4	1	1	0
③ 堀野	3	0	0	1
⑨ 柳	3	0	0	0
⑤ 有住	3	0	0	0
⑧ 五十公野	2	0	0	1
⑦ 両角	1	0	0	0
1 藤丸	0	0	0	0
H 川瀬	1	0	0	0
1 斉藤	0	0	0	0
1 片山	1	1	0	0
① 橋本	0	0	0	0
H7 山中	3	1	0	0
⑥ 松永	3	0	0	0
	28	4	2	2

投手	回数	者	安	振	球
橋本	2	9	2	1	1
藤丸	2	9	3	1	0
斉藤	1 1/3	9	1	0	3
片山	2 2/3	9	1	0	2

順位決定戦は七回戦。１－１同点の延長八回は無死満塁制の攻防で先攻の北海道は１番松岡から。三走がスタートし打球は三塁寄りの投ゴロがバックホームできず勝ち越し点を挙げた。続く英は投ゴロ、堀野は三飛に終わった。

長崎はこの試合２安打の山口から。三ゴロ本封と代打の植杉も三飛で二死。野村の当りは一塁寄りの投ゴロ。雨でぬかるんだ足元が悪く一塁送球が内側に逸れ、野村はヘッドスライディングしたが間一髪のタッチアウトで雨中の決戦は終わった。

先制したのは二回の長崎。先頭北田が右中間突破の三塁打。永田死球の一三塁に山口が中前にライナー打。尚も一死一二塁は三振と中飛。同点とされた三回も二死後に中村の中前打や、四回は二死後に山口と代打磯の連打。五回も大山の安打などで二死一二塁と攻めるも効果打が出ず、六回は３四死球を得て一死満塁も鳥越の遊直併殺打で逸し、七回も中村死球から北田の三塁前バントヒットに永田が選んで一死満塁のサヨナラ機も、吉田が遊→捕→一の併殺打に終わった。

北海道は三回。二死後に１番松岡の左中間二塁打に続いて英の右中間三塁打で同点とした。五回から登板の今村に対しても五回に山中の安打で二死二塁は松岡が三振。雨がひどくなった七回は一死後に五十公野が四球。暴投二進後に片山の左前打で一三塁。三ゴロで本塁憤死の二死一二塁はフルカウントから松永が空振り三振に斬られた。

【長崎】	打	安	点	球
⑨ 鳥越	4	0	0	0
④ 大山	3	1	0	0
4 稲澤	1	0	0	0
③ 中村	2	1	0	1
⑧ 北田	3	2	0	0
⑦ 永田	2	0	0	2
② 古賀	2	0	0	0
2 吉田	1	0	0	1
⑤ 山口	3	2	1	0
① 岩見	1	0	0	0
H 磯	1	1	0	0
1 今村	0	0	0	1
H 植杉	1	0	0	0
⑥ 野村	3	0	0	1
	27	7	1	6

投手	回数	者	安	振	球
岩見	4	15	2	4	1
今村	4	15	2	2	1

※所属の「三菱」は三菱重工長崎、「親和」は親和銀行

長崎県選抜

背	位置	氏名	齢	所属	19	捕手	坂田竜徳	23	三菱	0	外野手	植杉真行	21	三菱
30	監督	中村勉	36	三菱	28	〃	吉田光太	30	親和	1	〃	北田亮佑	25	親和
10	主将	古賀太一	30	親和	3	内野手	野村健太郎	30	親和	23	〃	鳥越章弘	29	親和
16	投手	今村賢	21	三菱	7	〃	磯祐一郎	23	親和	24	〃	稲澤和也	22	三菱
17	〃	岩見諒	23	三菱	8	〃	山口宰	24	三菱	25	〃	永田勝厳	33	親和
18	〃	桑原隆史	31	親和	9	〃	大山駿	18	三菱	【コーチ】香田正宣(三菱)、林田大輔(親和)				

【決勝】　佐世保⑪　　【審判】藤山(諫早)、石崎(佐世保)、田中(諫早)、天野(佐世保)

開始 08:54	終了 11:49	所要 2時55分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
埼玉	旭鋼管工業株式会社		0	0	0	0	0	0	0	2	3	5
宮崎	特定医療法人浩洋会 田中病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【二塁打】前川孝徳(埼玉)

七回表より少雨。八回表より降雨続行。

埼玉	一	二	三	四	五	六	七	八	九
⑧根本	4-3		1-3		1-3			7F	B
④伊志嶺	中安		1T		4-3			DB	中安
⑥江川	1-3		1-3			7F		2犠	投安
③前川	(K)			B		6-3		DB	中二
⑤三澤		2F		1-3		中安		DB	9F
⑦渡		中安		7F		3-1		B	1E-3
⑨橋本		7F		B			中安	5E	2F
①松田		6F		(K)			1F	(K)	
②吉田			DB		(K)		2F併		(K)

(K)＝空振り

宮崎	一	二	三	四	五	六	七	八	九
⑦上田	B		DB		9F			3A	
⑥上本	4-3		6-3			3-1			6-3
④石山	6-3		6-3			(K)			B
⑤長友	B			9F		(K)			4-3
⑧江藤	8F			中安			4-3		(K)
③杉本		5-3		1犠			8F		
②直野		(K)		5FF			(K)		
①仙田山		5-3			K			4-3	
H 黒原								8F	
1 吉田									
⑨中山			3FF		1-3			(K)	

【八回】降雨の中、３死球で満塁に四球押し出した後、三ゴ失。
【九回】中安で一三塁に投内安。一二塁に中二塁打で２点目(二三塁)。
1E-3で３点目。

九回二死で暴投三進。

長崎がんばらんば国体 2014
第69回国民体育大会 君の夢 はばたけ今 ながさきから

天皇杯得点

順位	都道府県名	獲得点	総合得点	総合順位
１位	埼玉県	64点	1702.5点	５位
２位	宮崎県	56点	1001点	19位
３位	北海道	48点	1484.5点	８位
４位	長崎県	40点	2364点	１位
５位	千葉県	32点	1394点	10位
６位	大阪府	24点	1807.5点	４位
７位	岐阜県	16点	1439.5点	９位
８位	和歌山県	８点	1063点	15位

天皇杯総合順位

２位	東京	2113.5
３位	愛知	1886.5
６位	神奈川	1649.5
７位	福岡	1509.5
11位	兵庫	1314
12位	京都	1222.5
13位	岡山	1195.5
14位	群馬	1139

皇后杯総合順位

１位	東京	1118.5
２位	長崎	1076.5
３位	愛知	1024
４位	大阪	919
５位	岐阜	825
６位	千葉	818.5
７位	北海道	763
８位	兵庫	752.5

※獲得点に参加点の10点は含まず。総合得点は参加点を含む。

国体軟式野球競技における長崎県勢プレイバック

昭和30年	第10回神奈川国体	参加＝26	初戦敗退
長崎刑務所	【一】	0-2	(福島)郡山日東紡

昭和33年	第13回富山国体	参加＝27	初戦敗退
住友潜龍鉱業所	【二】	0-4	(愛媛)住友化学工業

昭和37年	第17回岡山国体	参加＝25	初戦敗退
西肥自動車	【一】	3-5	(茨城)日立製作所

昭和41年	第21回大分国体	参加＝28	初戦敗退
藤岡石油店	【一】	0-1	(三重)東芝三重工場

昭和44年	第24回長崎国体	参加＝30	第４位
三菱重工長崎	【一】	1-0	(岐阜)関ヶ原石材
	【二】	2-1	(石川)金沢電話局
	【準々】	1-0	(群馬)大和設備工事
	【準】	0-1	(神奈川)厚木自動車部品
	【3.4位】	0-3	(静岡)静岡瓦斯

昭和21年に始まった秋季国民体育大会は22競技の一つとして軟式野球競技も始まり、長崎県開催までの23年間に30、33、37、41年と四度の出場だけで全てが初戦敗退であった。地元開催大会での初勝利を期して県予選会での代表権を得たのは三菱重工長崎。三菱重工には硬式野球部があり、ここ一二年の間に同部から荻野良一(投手)や内野手の田中昭弘、橋本五郎、弦本匡功に、外野手では吉武常行を補強した。とくにこの年に転向してきた荻野は強力な戦力で、国体前の福岡専売との招待試合で完全試合を達成している。

一回戦の岐阜戦は延長15回まで双方０行進。16回先頭の真崎が三ゴロの悪送球で生き、松山の右翼線二塁打でようやく決勝点を奪った。投手の荻野は立ち上がりは不安であったが三回以降は１安打のみで16回を投げ、被安打３、与四球1、奪三振13で完封。同日二回戦の金沢電話局(石川)は前年の国体優勝チーム。１－１で同点の八回二死後に田中が左翼席に決勝本塁打した。

三回戦の群馬戦も０－０で延長戦。16回までノーヒットに抑えられていたが17回に江崎と野原が連打し野手の拙守もあり二三塁とした場面で代打に小崎。2－1からの外角球を右中間にサヨナラ打。前日に25イニングスを投げた荻野はこの試合も完投し九回無死一二塁も切り抜けて散発６安打に抑えベスト４に進出した。

だが続けて行なわれた準決勝の神奈川戦は二回に３安打集中され１点を許し、これが決勝点。打線も沈黙したままで橋本の大飛球は２本ともポールの外側という不運さもあった。

三位決定戦の静岡戦は荻野以外の投手が登板し五、六回に失点。七回無死一三塁で荻野が登板し好救援も打線が抑えられゼロ封。

荻野は一日目に25回。二日目が26回。三日間で53イニングス投じ失点２。前年まで硬式野球部にいたとはいえ鉄腕ぶりだった。

諫早市で開催された準硬式の部に出場した長崎県庁は、初戦の名古屋相互銀行に０－０延長の12回に２点を奪われ敗退した。

昭和45年	第25回岩手国体	参加＝30	第４位
親和銀行	【一】	2-1	(山形)山形新聞社
	【二】	1-0	(群馬)大和設備工事
	【準々】	2-1	(京都)京都市消防局
	【準】	1-3	(長野)諏訪精工舎
	【3.4位】	0-1	(神奈川)厚木自動車部品

岩手で開かれた国体に西九州代表で出場した親和銀行はこの国体が全国デビューであった。一回戦から三回戦まで全て１点差のゲームを下手投げで変化球に冴えを見せる宮本博久と、制球力ではいま一つだが速球派の松尾義徳の継投で接戦をモノにした。

準決勝の長野戦は１点のリードを許してから日没のため翌日に特別継続試合となり、再開してすぐに同点としたが２点追加され１－３敗退。三位決定戦ではベテランの山田邦雄が初先発。立ち上がりにソロ本塁打された以外のワンヒットピッチングも味方の援護なく０－１で四位に甘んじたが全国大会初出場の親和銀行が前年長崎国体の三菱重工と同じ、国体で四位の成績。

曽木毅監督は就任１年目の快挙でもあった。その後、46、48、50、53年…と、親和銀行は国体出場を果たし、極めつけは60年の鳥取国体と、平成７年福島国体での準優勝へと健闘していく。

昭和46年	第26回和歌山国体	参加＝30	二回戦敗退
親和銀行	【一】	10-0	(岩手)盛岡信用金庫
	【二】	1-2	(石川)金沢市役所

昭和47年	第27回鹿児島国体	参加＝30	初戦敗退
三菱重工長崎	【一】	1-3	(秋田)信用農協連合会

昭和48年	第28回千葉国体	参加＝29	初戦敗退
親和銀行	【一】	0-2	(長野)帝国通信赤穂

昭和49年	第29回茨城国体	参加＝29	初戦敗退
松早石油店	【一】	1-2	(青森)八戸魚市場

昭和50年	第30回三重国体	参加＝28	初戦敗退
親和銀行	【一】	3-4	(群馬)新町役場

昭和53年	第33回長野国体	参加＝28	初戦敗退
親和銀行	【一】	2-4	(福島)竹田病院野球クラブ

昭和53年国体に３年ぶり五度目出場した親和銀行は初戦敗退に終わったが、二か月前に静岡県で開催の天皇賜杯大会(参加52)で４試合を勝ち進み準決勝敗退のベスト４に輝いている。一回戦は専売東北(宮城)に６－０。二回戦の安木ビクトリー(島根)に５－３勝利。三回戦は東芝三重を３－２、準々決勝の和歌山県農協組合連合会も８－２で撃破したが、優勝したライト工業(東京)には０－３と及ばなかった。

昭和54年	第34回宮崎国体	参加＝28	BEST８
長崎日野自動車	【一】	4-1	(福井)福井市役所
	【二】	2-0	(群馬)東京三洋電機
	【準々】	0-6	(千葉)千葉相互銀行

昭和48年夏に海星高が甲子園出場した時のエース・中村郁郎が長崎日野を牽引して国体初出場。一二回戦を突破して準々決勝戦の相手が千葉相互銀行。前年の天皇賜杯準優勝するなど激戦地の千葉県や関東ブロックを勝ち上がってきた強豪には苦杯した。

もっとも準決勝戦以降は台風襲来で行われず４チーム(鹿児島、長野、山口、千葉)で天皇杯得点を分け合っている。

昭和55年	第35回栃木国体	参加＝28	初戦敗退
長崎日野自動車	【一】	2-3	(茨城)住友金属鹿島

台頭著しい長崎日野が２年連続で国体出場。同チームは長崎県軟式野球選手権大会でも54年から３年連続決勝戦で親和銀行に勝ちＶ３を達成。だが天皇賜杯は58年に一度(初戦敗退)出場のみ。

昭和59年	第39回奈良国体	参加＝28	二回戦敗退
三菱重工長崎	【一】	3-2	(千葉)千葉銀行
	【二】	1-2	(北海道)士別市役所

昭和47年より12年ぶりに三菱重工長崎が三度目出場。強豪の千葉銀行を撃破し上位進出を期待されたが、北海道に苦杯した。

昭和60年	第40回鳥取国体	参加＝28	準優勝
親和銀行	【一】	4-0	(石川)日本たばこ金沢
	【二】	8-0	(徳島)ＮＴＴ徳島
	【準々】	4-0	(奈良)佐藤薬品工業
	【準】	3-2	(東京)ライト工業
	【決】	0-5	(鳥取)三洋電機鳥取

８月に熊本県で開催の天皇賜杯大会に３年ぶり11度目出場した親和銀行は富士電機東京に2-0、宮城に2-0、北海道南に6-5と、快進撃。準々決勝で優勝した佐久病院(長野)に2-5敗戦のベスト８と、

期待されての六度目の国体出場だったが、予想以上の準優勝。

７年ぶりの国体でありメンバーも若返り、初戦の石川戦はいきなり宮添裕康の３ランで優位に立つと、53年天皇賜杯でベスト４入りした年に八幡大から迎え入れた下手投げで大黒柱の高藤文明が被安打３に奪三振９の快投で完封し４－０。二回戦の徳島は９安打に10盗塁を絡ませる機動力で相手守備陣をかき回し大量の８得点。守っては先発の高藤が５回まで散発３安打無失点。六回から若きエースの佐々田俊則が３人ずつで片付けるパーフェクトピッチングで準々決勝戦に進出。

奈良の佐藤薬品工業戦は序盤から押され気味だったが４回に４点のラッキーな点が転がり込んだ。こうなると高藤の技巧がモノをいい４回以降を失策と四球の２走者に抑え初戦に続いて完封。

15年前の昭和45年岩手国体でベスト４入りした時は捕手だった松尾敏正監督は「全員が力を結集しての勝利」と。

準決勝の相手は東京のライト工業。２年前の58年天皇賜杯決勝戦で田中病院(宮崎)と延長45回の死闘を演じ優勝している強豪。親銀にとっても天皇賜杯大会でベスト４になった７年前(53年)の準決勝戦で０-３に封じられた相手である。静岡の仇は鳥取で…。先制したものの４回に逆転を許した時は、もはやこれまでか…と思われたが、６回に同点としてからは流れが変わり３-２で勝利を手中にした。松尾監督は「これで前の借りを返せたナ…」と。「毎日毎日ヒーローが変わる全員野球の勝利＝松尾」の言葉どおり、準決勝でも連投の高藤をリリーフした佐々田が７回以降を内野安打１本に抑える快投ぶり。攻めては本大会で初めて打席に立った田中勝也が７回に決勝タイムリーを放つなどベンチの打つ手打つ手がすべてに的中した。

決勝戦はここまで５-０、３-０、５-０と、相手に点を与えずに勝ち上がってきた地元の三洋電機鳥取。全国各地の三洋から補強したチームには健闘及ばず０－５で敗戦した。

昭和62年	第42回沖縄国体	参加＝28	初戦敗退
親和銀行	【一】	1-3	(山梨)日本電気山梨工場

昭和63年	第43回京都国体	参加＝28	BEST４
親和銀行	【一】	4-0	(山形)東北パイオニア
	【二】	3-1	(京都)光工業クラブ
	【準々】	2-1	(高知)植野陶器クラブ
	【準】	0-4	(宮崎)浩洋会田中病院
	【3.4位】	4-2	(山梨)日本電気山梨工場

国体も二巡目となった。この年の九州連合会長杯で４年ぶり二度目の優勝を果たしていた親和銀行は九州国体でも４枠に入り宮崎(田中病院)、福岡(岩田屋)、大分(トキハデパート)と共に出場。三試合を勝ち上がった準決勝で田中病院に九連会長杯の仇を討たれた。だが三四位決定戦(七回戦)は０－０で無死満塁制の延長八回に２点を先制された裏、一死後に代打上杉芳邦が左に逆転サヨナラ満塁本塁打。

この年から成年は１部と２部に分けられたが、２部(参加16。九州枠２)には出場できず、平成19年秋田国体までの20年間に長崎県チームは成年２部(後に一般Ｂ)の九州２枠を突破できずに、本国体出場は叶わなかった。

平成３年	第46回石川国体	参加＝16	初戦敗退
親和銀行	【一】	1-2	(石川)ＪＴ金沢

平成元年北海道国体から成年が１部(16)２部(16)と壮年(12)の３部制となり九州枠は３部×２チームとなった。

九州国体を九州石油大分と共に突破した親和銀行は初戦で完全アウェーの石川と対戦し惜敗した。

平成７年	第50回福島国体	参加＝16	準優勝
親和銀行	【一】	1-0	(石川)北國銀行
	【二】	4-1	(福島)橋本ﾌｫｰﾐﾝｸﾞ工業
	【準】	2-1	(奈良)佐藤薬品工業
	【決】	0-2	(大阪)大阪市信用金庫

親和銀行が第40回京都国体以来10年ぶり二度目の準優勝を成し遂げた。この年の親和銀行は５月の九州選手権で７年ぶり三度目の優勝をする幸先よいスタート。九州国体で佐賀と沖縄を破って鹿児島とともに第50回福島国体に出場した。

初戦の石川戦は３回に４四球で得た１点を井内克久投手が守り切った。二回戦の橋本フォーミング工業は地元。１点先制されたが同点に持ち込んで３点追加し４－１。準決勝の佐藤薬品(奈良)戦も１点の先行を許したが粘って同点。そして逆転勝利の２-１。驚くべき底力を見せた。

決勝の大阪市信用金庫戦は、３連投の井内に代わり荒金照貴がマウンドを踏んだが、好投むなしく土壇場９回の攻防が明暗を分け０－２で準優勝。

軟式野球３部門の天皇杯得点は３部門ともエントリーの北海道が１位。地元開催の福島と１部と２部に出場の大阪が２位。４位を長崎と２部準優勝の佐賀と壮年準優勝の京都で分けた。

親和銀行が次に国体出場したのは７年後の14年高知国体だったが地元に初戦で敗退。

平成14年	第57回高知国体	参加＝16	初戦敗退
親和銀行	【一】	1-5	(高知)旭食品クラブ

平成15年以降の一般Ａは、重工、16年親銀、17年アイケン医院、18年親銀、19年親銀が九州国体に臨んだが２勝の壁が厚く、20年大分国体より成年のみの１部門(参加32)となり、長崎県選抜チームを編成して、来たるべき26年の地元開催に強化を図ることとした。

平成20年	第63回大分国体	参加＝32	二回戦敗退
長崎県選抜	【一】	4-2	(栃木)富士通㈱小山工場
	【二】	2-3	(大分)オール大分

平成22年	第65回千葉国体	参加＝32	初戦敗退
長崎県選抜	【一】	3-4	(福井)セーレン株式会社
			延長23回

試合時間は６時間１分。福井は昨年の天皇賜杯大会を制したセーレンの単独チーム。試合は両先発投手が好投し、バックもよく守ってスコアボードにゼロが並んだ。延長15回が終ったところで日没に備え一時中断。会場を袖ヶ浦市今井野球場から照明設備のある同市総合運動公園野球場に移して再開した。

小雨が降る中の熱戦は延長22回に動き、福井が３点を挙げ試合は決まったかに思われた。しかしその裏、２四死球から中村勉(三菱)、鳥越章弘(親和)の内野安打で１点。さらに二死後に下川大輔(親)の死球や内山大輔(親)の内野安打で同点に追いついた。

23回には福井に決勝点を奪われたが、実質的にチームを指揮した親和銀行の原田和寛監督は「みんなの気持ちは最後まで途切れなかった。それぞれの野球人生の財産になり、長崎国体に向けてもいい経験になった」と称えた。22回を投げ抜いた林田大輔(親)も「頑張ればいつかは勝てると思った。この経験を糧にしたい」と自信につなげていた。

大会は第二日が悪天候で順延。第四日に予定していた決勝戦と三四位決定戦は行われず、優勝は千葉(松戸市役所)と京都(佐川印刷)で分け、三位は山口(ｾﾝﾄﾗﾙ硝子宇部工場)と埼玉(パイオニア)の両チームが受け取った。

平成25年	第68回東京国体	参加＝32	準優勝

長崎県選抜 【一】 2-1 (山口)セントラル硝子㈱宇部工場
【二】 2-1 (山形)公徳会 佐藤病院
【準々】6-1 (石川)コマニー株式会社
【準】 2-1 (奈良)佐藤薬品株式会社
【決】 0-1 (大阪)大阪市信用金庫

平成20年大分国体から県選抜チームを編成してから６年目となった25年に『花のお江戸で』で18年ぶりに準優勝の栄に輝いた。

初戦の山口戦は初回に１点先取するも四回に同点とされ延長戦12回にサヨナラで決めた。二回戦の山形戦は五回表に１点先制されたが直後に野村健太郎(親和)の右適時打で同点とすると、桑原隆史(親)、吉武俊一(三菱)に、前日12回を完投した今村賢(三)ら投手陣が継投で山形打線をかわして迎えた延長11回裏。先頭安打に敵失で得た一死満塁から押し出し四球でサヨナラ勝利。

ベスト８入りを決めた準々決勝は大会三日目。鹿町工高から三菱重工入りした今村(20)が４年前(21年)天皇杯で準優勝の実績を

平成15年以降の参加チーム

チーム名の、●は初戦敗退。②は二回戦で敗退。③は三回戦で敗退。
色塗りは決勝進出と開催地チーム　**④は四試合目に進出(第62回大会までは決勝戦)。⑤は決勝戦(◎は優勝、★は準優勝)**

ブロック		第58回 (H16年)	第59回 (H16年)	第60回 (H17年)	第61回 (H18年)	第62回 (H19年)	第63回 (H20年)	第64回 (H21年)
	開催地	静岡	埼玉	岡山	兵庫	秋田	大分	新潟
		一般Ａ(16チーム)	一般Ａ(16チーム)	一般Ａ(16チーム)	一般Ａ(16チーム)	一般Ａ(16チーム)	32チーム	
	北海道	千歳市役所●	六花亭③	六花亭②	六花亭②	六花亭●	三愛病院●	六花亭④
東北6	青　森							
	岩　手		セイナン工業㈱●	宮古信用金庫●	セイナン工業㈱●		オール岩手●	オール岩手②
	宮　城	佐川急便東北②		ｾﾚｽﾃｨｶｼﾞｬﾊﾟﾝ●		杜の都信用金庫●		
	秋　田					秋田選抜●	JA全農あきた●	JA全農あきた●
	山　形		東北パイオニア●		東北ﾊﾟｲｵﾆｱ④★		東北パイオニア②	東北パイオニア●
	福　島	東芝ﾀﾝｶﾞﾛｲ㈱●				㈱タンガロイ●	㈱タンガロイ●	アルパイン㈱●
関東8	茨　城							筑波病院●
	栃　木		栃木選抜③				富士通㈱小山●	栃木選抜●
	群　馬						サンデン㈱●	太田市役所⑤★
	埼　玉	パイオニア川越●	パイオニア川越②			旭鋼管工業㈱●	パイオニア川越②	パイオニア川越●
	千　葉		京葉銀行②			京葉銀行③	京葉銀行⑤◎	京葉銀行●
	東　京	佐川急便関東●		佐川急便関東●	佐川急便関東●		佐川急便関東●	佐川急便関東●
	神奈川			日立厚木●	日立厚木●			
	山　梨							
北信越5	新　潟	北陸ガス●						新潟県選抜●
	長　野							
	富　山	武内プレス工業③	武内プレス工業●	武内プレス工業③	武内プレス工業●	北陸流通㈱②	武内プレス工業②	武内プレス工業②
	石　川			佐川急便北陸●	コマニー㈱②		佐川急便北陸③	佐川急便北陸●
	福　井					セーレン㈱②	江守商事㈱③	
東海4	静　岡	静岡ガス④★	ホンダ浜松●	東芝機械㈱②		静岡ガス㈱④★	ホンダ浜松②	静岡ガス㈱②
	愛　知	大森石油④◎					㈱ニッセイ⑤★	㈱ニッセイ②
	三　重							
	岐　阜		東海自動車学校●		東海自動車学校●		岐阜信用金庫●	サンメッセ③
近畿6	滋　賀		青樹会病院④◎			青樹会病院●	青樹会病院●	青樹会病院②
	京　都			佐川印刷京都④★			SECカーボン②	
	大　阪	佐川急便大阪③		大阪市信用金庫②	大阪市信用金庫●	大阪市信用金庫②	大阪市信用金庫③	明治製菓大阪●
	兵　庫				兵庫県選抜④◎		兵庫選抜④	日亜鋼業㈱⑤◎
	奈　良	佐藤薬品工業②	佐藤薬品工業●		佐藤薬品工業●			佐藤薬品工業●
	和歌山							
中国5	鳥　取	鳥取三洋電機●		鳥取三洋電機②	鳥取三洋電機③	鳥取三洋電機④◎	三洋電機鳥取②	
	島　根							中筋グループ②
	岡　山			岡山選抜●				NTT岡山②
	広　島		造幣局広島支局●		佐川急便中国②		造幣局広島支局●	広島日野自動車●
	山　口	ｾﾝﾄﾗﾙ硝子宇部②		山口合同ガス②		ｾﾝﾄﾗﾙ硝子宇部●	ｾﾝﾄﾗﾙ硝子宇部②	ｾﾝﾄﾗﾙ硝子宇部●
四国4	香　川		中商事㈱②	三木クラブ④◎	中商事㈱●		中商事㈱●	日本通運四国④
	徳　島							
	愛　媛					秋山工業倶楽部②	オール愛媛●	
	高　知	旭食品クラブ②	旭食品クラブ②	大分銀行●			旭食品●	高知ﾘﾊﾋﾞﾘ学院③
九州8	福　岡					東芝北九州●	東芝北九州③	西部ガス北九州●
	佐　賀						ひらまつ病院●	戸上電機製作所③
	長　崎						長崎県選抜②	
	熊　本	九州電力熊本●			ホンダ熊本③		熊本県選抜●	熊本県選抜③
	大　分	津久見市役所●	仲宗根病院●		ＡＬＬ大分②		オール大分④	オール大分②
	宮　崎						吉田病院●	浩洋会 田中病院●
	鹿児島		鹿児島相互信金④★					
	沖　縄			沖縄選抜●		沖縄選抜③		
天皇杯	開催地	15年　徳島県	16年　宮城県	17年　鳥取県	18年　滋賀県	19年　大分県	20年　埼玉県	21年　石川県
	優　勝	大森石油(愛知西)	ﾊﾟｲｵﾆｱ川越(埼玉)	ｾﾝﾄﾗﾙ硝子(山口)	大阪市信用金庫	佐藤薬品工業(奈良)	佐藤薬品工業(奈良)	セーレン(福井)
	準優勝	大阪市信用金庫	徳島県庁(徳島)	大阪市信用金庫	㈱ダンガロイ(福島)	静岡ガス(静岡)	武内プレス工業(富山)	コマニー(開催地)

持つコマニー(石川)に対して二回１失点の完投。打線も今村と同僚の稲澤和也(21)や野村健太郎(親＝30)が三塁打するなどで、三回に３点奪い逆転。六回に１点加点すると七回はダメ押し２点で６－１と快勝。会場を府中市民球場から主会場の昭島市民球場に移動しての準決勝に臨んだ。

準決勝は国体でも常連の奈良・佐藤薬品工業。19年、20年と天皇賜杯を連覇している強豪。３年前の千葉国体の福井戦で延長23回を投げた林田大輔(親和銀行監督)が今回は支援コーチとして指揮を執り「準々決勝の延長だと思って戦おう」と送り出し、初回一死後に四球。４番北田亮佑(親＝24)の二塁打で先制。六回には６番で本塁を死守する吉田光太(親=29)のタイムリー打で加点した。先発した桑原(31)も最終九回に失点したが４安打完投で締めた。

決勝戦の大阪信用金庫は、ALL高知を２-０。All岩手も２－０と勝ち、岐阜(濃飛西濃運輸)に４-３、田中病院(宮崎)も２-１と接戦をモノにしてきている。この強豪に今村が一歩も引けを取らずに立ち向かった。序盤の一三回の一死一三塁ピンチにも粘り強く投げて八回まで無失点。九回一死後に連安打と四球の満塁に投じた148球目のツーシームの打球が三塁前で弾んでサヨナラとなった。

打線で気を吐いたのが山口宰(三菱/23)で、清峰高時代に選抜準優勝の経験がありこの試合は２安打。五回二死後の２安打目はあと少しで左翼フェンス越えの先制本塁打となるところだった。

（文中詳細の一部は長崎新聞より引用）

	第65回（H22年）	第66回（H23年）	第67回（H24年）	第68回（H25年）	第69回（H26年）	長崎国体での相手と勝敗
開催地	千葉	山口	岐阜	東京	長崎	○数字は試合数。●は敗戦。
	第二日が雨天					☆★は順位決定戦での勝敗
北海道	六花亭●	六花亭●	三愛病院●	六花亭●	六花亭	東京①山形②大阪③宮崎●長崎☆
青　森			青森銀行●		東奥信用金庫	滋賀●
岩　手	オール岩手②	オール岩手●		オール岩手②	オール岩手	岡山①岐阜●
宮　城	グランドスラム●					
秋　田	医療法人 荘和会●	JA全農あきた●	JA全農あきた●	㈱宮腰ﾃﾞｼﾞﾀﾙ②	JA全農あきた	埼玉●
山　形		公徳会 佐藤病院②	東北パイオニア●	公徳会 佐藤病院②	公徳会 佐藤病院	愛媛①北海道●
福　島	㈱タンガロイ●	㈱タンガロイ●	アルパイン㈱●	日本工機㈱●		
茨　城	常陽銀行③	筑波病院●		㈱筑波銀行●	筑波病院	佐賀●
栃　木			富士通㈱小山②	関西ペイント●	足利赤十字病院	長野●
群　馬	高崎市役所③	高崎市役所④	高崎市役所●	太田市役所②		
埼　玉	パイオニア㈱④	旭鋼管工業㈱②	曙ﾌﾞﾚｰｷ工業㈱③		旭鋼管工業㈱	秋田①愛知②和歌山③長崎④宮崎⑤
千　葉	松戸市役所⑤△		京葉銀行⑤★	京葉銀行●	京葉銀行	広島①福井②長崎●和歌山☆大阪☆
東　京	ｽﾘｰﾎﾞﾝﾄﾞ高分子㈱③	佐川急便関東●	オール東京②	オール東京③	オール東京	北海道●
神奈川	湘南信用金庫●	湘南信用金庫②	日立ｵｰﾄﾓﾃｨﾌﾞ厚木●	ﾘｺｰﾛｼﾞｽﾃｨｯｸ㈱●		
山　梨		アイアンマン②				
新　潟	北陸ガス●					
長　野		チームながの●	チームながの●	チームながの●	チームながの	栃木①宮崎●
富　山		武内プレス工業●	武内プレス工業②	武内プレス工業③	武内プレス工業	大阪●
石　川	佐川急便北陸●	コマニー㈱●		コマニー㈱③	小松精錬㈱	熊本●
福　井	セーレン㈱②	セーレン㈱●	セーレン㈱●		セーレン㈱	鹿児島①千葉●
静　岡		静岡ガス㈱③		静岡ガス㈱②	静岡ガス㈱	長崎●
愛　知	㈱ニッセイ②	㈱ニッセイ⑤◎	㈱ニッセイ⑤◎	和合病院●	和合病院	島根①埼玉●
三　重		ホンダ鈴鹿④	ホンダ鈴鹿●			
岐　阜	岐阜日野自動車②		岐阜県選抜③	濃飛西濃運輸③	濃飛西濃運輸	京都①岩手②宮崎●大阪★和歌山☆
滋　賀	青樹会病院②	青樹会病院●			青樹会	青森①長崎●
京　都	佐川印刷京都⑤△	SECカーボン⑤★	佐川印刷㈱②	佐川印刷㈱●	佐川印刷㈱	岐阜●
大　阪		佐川急便関西●	㈱ドウシシャ④	大阪信用金庫⑤◎	大阪ｼﾃｨ信用金庫	富山①佐賀②北海道●岐阜☆千葉★
兵　庫	三洋電機洲本②	日亜鋼業㈱●	グローリー㈱②			
奈　良	佐藤薬品工業●		佐藤薬品工業●	佐藤薬品工業④		
和歌山				オール和歌山●	和歌山選抜	大分①熊本②埼玉●千葉★岐阜★
鳥　取			ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ鳥取②			
島　根	中筋グループ●				中筋グループ	愛知●
岡　山		岡山ガス②		岡山ガス②	品川ﾘﾌﾗｸﾄﾘｰｽﾞ㈱	岩手●
広　島	広島日野自動車②	福山市職●	佐川急便中国③	佐川急便中国●	佐川急便中国	千葉●
山　口	ｾﾝﾄﾗﾙ硝子宇部④	ｾﾝﾄﾗﾙ硝子宇部③	ｾﾝﾄﾗﾙ硝子宇部③	ｾﾝﾄﾗﾙ硝子宇部●		
香　川	日本通運四国●			四国明治乳業②		
徳　島	三洋電機徳島②	三洋電機徳島②		ドラゴンフライ●		
愛　媛	オール高知●		オール愛媛●		オール愛媛	山形●
高　知	オール高知●	オール高知●	オール高知●	オール高知●	オール高知	宮崎●
福　岡	福岡サニクリーン●	西部ガス北九州③	福岡サニクリーン●			
佐　賀	佐賀県選抜③		ひらまつ病院③	戸上電機製作所②	ひらまつ病院	茨城①大阪●
長　崎	長崎県選抜●			長崎県選抜⑤★	長崎県選抜	静岡①滋賀②千葉③埼玉●北海道★
熊　本		ホンダ熊本●	ホンダ熊本●		熊本県選抜	石川①和歌山●
大　分		オール大分②	オール大分●	オール大分●	オール大分	和歌山●
宮　崎	浩洋会 田中病院●	浩洋会 田中病院③	浩洋会 田中病院②	浩洋会 田中病院④	浩洋会 田中病院	高知①長野②岐阜③北海道④埼玉●
鹿児島	鹿児島相互信金●	鹿児島相互信金②	鹿児島相互信金②	鹿児島相互信金●	鹿児島相互信金	福井●
沖　縄	ﾁｯﾌﾟﾁｯﾌﾟﾍﾞｰｽﾎﾞｰﾙ●					
天皇杯	22年　東京都	23年　岩手県	24年　沖縄県	25年　鳥取県	26年　愛媛県	優勝：埼玉　　準優勝：宮崎
優　勝	日本通運四国(香川)	三洋電機鳥取(鳥取)	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ鳥取(鳥取)	京葉銀行(千葉)	SECｶｰﾎﾞﾝ(京都)	三位:北海道、四位:長崎、五位:千葉
準優勝	旭鋼管工業(埼玉)	大阪市信用金庫(大阪)	㈱キャプティ(東京)	ｽﾘｰﾎﾟﾝﾄﾞ高分子(東京)	京葉銀行(千葉)	六位:大阪、七位:岐阜、八位:和歌山

『長崎がんばらんば国体　軟式野球競技会』全36試合の勝敗表と会場別立審者の一覧表　①

【佐世保】		対戦	得点	回	球審	一塁	二塁	三塁	左翼	右翼
1	一回戦	島根	1	延	藤山隆一郎	天野　浩州	荒木　一彦	法村　俊弥		
		愛知	2	10	諫早	佐世保	佐世保	佐世保		
2	〃	埼玉	2	9	高木　洋	鮎川　美則	川本　翔吾	北川　数幸		
		秋田	1		熊本	佐世保	佐世保	福江		
3	〃	熊本	1	9	石崎　政尊	堀　悠一	中山　康治	荒木　善一		
		石川	0		佐世保	佐世保	佐世保	福江		
4	〃	和歌山	2	延	藤瀬　新一	吉永　伸二	鴨川富美夫	原　雄一郎	天野　浩州	北川　数幸
		大分	1	10	佐世保	佐世保	佐世保	上五島	佐世保	福江
5	二回戦	埼玉	1	9	中山　康治	荒木　一彦	高木　洋	松本清之進		
		愛知	0		佐世保	佐世保	熊本	壱岐		
6	〃	和歌山	4	9	川本　翔吾	藤山隆一郎	吉永　伸二	鮎川　美則		
		熊本	1		佐世保	諫早	佐世保	佐世保		
7	準々決勝	埼玉	2	9	鴨川富美夫	岩永　武文	藤瀬　新一	堀　悠一		
		和歌山	1		佐世保	佐世保	佐世保	佐世保		
8	順位決定戦①	和歌山	2	特	天野　浩州	吉永　伸二	川本　翔吾	永井　洋人		
		千葉	3	8	佐世保	佐世保	佐世保	佐世保		
9	準決勝	埼玉	4	9	海老原雄一	小林洋一郎	前西原　裕	下南　達		
		長崎	0		宮崎	鳥取	沖縄	和歌山		
10	五六位決定戦	大阪	0	7	岩永　武文	藤瀬　新一	中山　康治	法村　俊弥		
		千葉	3		佐世保	佐世保	佐世保	佐世保		
11	決勝戦	埼玉	5	9	藤山隆一郎	石崎　政尊	田中　康隆	天野　浩州		
		宮崎	0		諫早	佐世保	諫早	佐世保		

【吉　井】		対戦	得点	回	球審	一塁	二塁	三塁	左翼	右翼
1	一回戦	鹿児島	0	9	渡辺　和巳	藤田　一生	中原　康尊	一川　康則	瀬井　和文	中島　昭仁
		福井	3		東彼杵	東彼杵	東彼杵	東彼杵	東彼杵	東彼杵
2	〃	広島	0	9	斎藤　幸信	渕瀬　靖則	森田　孝徳	鮎川　博	木村　政市	辻　勝也
		千葉	1		諫早	西海	諫早	諫早	大村	東彼杵
3	〃	青森	1	9	山口　勝好	西條　太章	横山　孝正	春下　昌彦	松本清之進	西村　隆
		滋賀	4		西海	鹿児島	西海	西海	壱岐	大村
4	二回戦	千葉	2	9	森田　孝徳	斎藤　幸信	西條　太章	鮎川　博	中島　昭仁	辻　勝也
		福井	1		諫早	諫早	鹿児島	諫早	東彼杵	東彼杵
5	〃	長崎	3	9	前西原　裕	下南　達	海老原雄一	小林洋一郎	中嶋　雅也	山口　勝好
		滋賀	1		沖縄	和歌山	宮崎	鳥取	大村	西海
6	準々決勝	千葉	0	9	下南　達	海老原雄一	小林洋一郎	前西原　裕	西村　隆	木村　政市
		長崎	1		和歌山	宮崎	鳥取	沖縄	大村	大村

『長崎がんばらんば国体　軟式野球競技会』全36試合の勝敗表と会場別立審者の一覧表　②

	【千鳥越】	対戦	得点	回	球審	一塁	二塁	三塁	左翼	右翼
1	一回戦	静岡	1	延	小林洋一郎	前西原　裕	下南　　達	海老原雄一	金川　栄治	小峰　利弘
		長崎	2	11	鳥取	沖縄	和歌山	宮崎	県北	諫早
2	〃	東京	0	9	千住　良治	北島　孝郎	東川　茂宏	中倉　良一	原川　久吉	豊里　　進
		北海道	1		諫早	県北	県北	県北	長崎	長崎
3	〃	山形	4	9	前川　孝師	金川　栄治	川本　和之	山﨑　　誠	田中　康隆	大田　　隆
		愛媛	2		県北	県北	県北	県北	諫早	長崎

	【平　戸】	対戦	得点	回	球審	一塁	二塁	三塁	左翼	右翼
1	一回戦	佐賀	3	9	山下英一郎	谷端　道広	河村　徳明	林田　敏隆		
		茨城	2		長崎	諫早	諫早	諫早		
2	〃	大阪	2	9	阿蘇　靖則	原田　芳春	正木　　篤	藤島　　亨		
		富山	0		佐賀	諫早	平戸	対馬		
3	〃	宮崎	2	延	小田　典和	正木　康寛	折元　郁朗	川﨑　　仁		
		高知	0	10	平戸	平戸	諫早	対馬		
4	二回戦	山形	0	9	阿蘇　靖則	前川　孝師	小峰　利弘	正木　康寛		
		北海道	1		佐賀	県北	諫早	平戸		
5	〃	佐賀	0	9	谷端　道広	千住　良治	山下英一郎	河村　徳明		
		大阪	2		諫早	諫早	長崎	諫早		
6	準々決勝	大阪	3	延	田中　康隆	正木　　篤	小田　典和	川久保達朗		
		北海道	4	10	諫早	平戸	平戸	平戸		
7	順位決定戦①	岐阜	0	特	島田　欣也	兼元　善啓	山辺　　等	辻田直太郎		
		大阪	1	8	島原	島原	県北	松浦		
8	準決勝	宮崎	3	9	田中　康隆	谷端　道広	千住　良治	正木　　篤		
		北海道	0		諫早	諫早	諫早	平戸		
9	七八位決定戦	岐阜	6	特	前川　孝師	山下英一郎	長谷川次男	小田　典和		
		和歌山	4	9	県北	長崎	松浦	平戸		
10	三四位決定戦	北海道	2	特	下南　　達	前西原　裕	小林洋一郎	海老原雄一		
		長崎	1	8	和歌山	沖縄	鳥取	宮崎		

	【生　月】	対戦	得点	回	球審	一塁	二塁	三塁	左翼	右翼
1	一回戦	長野	3	9	兼元　善啓	杉野喜代志	島田　欣也	宮崎　浩二	冨田　信昭	井戸　紳介
		栃木	2		島原	県南	島原	県南	松浦	松浦
2	〃	岐阜	4	9	江藤　　賢	木下　研一	森川　信也	野崎　龍二	中野　正和	田崎　洋介
		京都	0		大分	長崎	長崎	長崎	松浦	松浦
3	〃	岡山	0	延	長谷川次男	泉頭　健二	松浦　智士	森　　強	深川　　悟	中野　　豊
		岩手	1	11	松浦	松浦	松浦	松浦	松浦	松浦
4	二回戦	宮崎	1	9	杉野喜代志	兼元　善啓	島田　欣也	宮崎　浩二	井戸　紳介	泉頭　健二
		長野	0		県南	島原	島原	県南	松浦	松浦
5	〃	岩手	0	9	江藤　　賢	森保　正弘	坂本　重登	土屋　良成	中野　　豊	森　　強
		岐阜	4		大分	長崎	長崎	長崎	松浦	松浦
6	準々決勝	宮崎	1	9	辻田直太郎	田崎　洋介	深川　　悟	中野　正和	冨田　信昭	松浦　智士
		岐阜	0		松浦	松浦	松浦	松浦	松浦	松浦

競技会役員

長崎県連関係のみ

競技会副会長　八江　利春
競技会参与　森　清
藤田　榮三
津田　祐一
競技委員長　福島　孝俊
競技副委員長　丸山　隆幸
審判副委員長　内山　克則

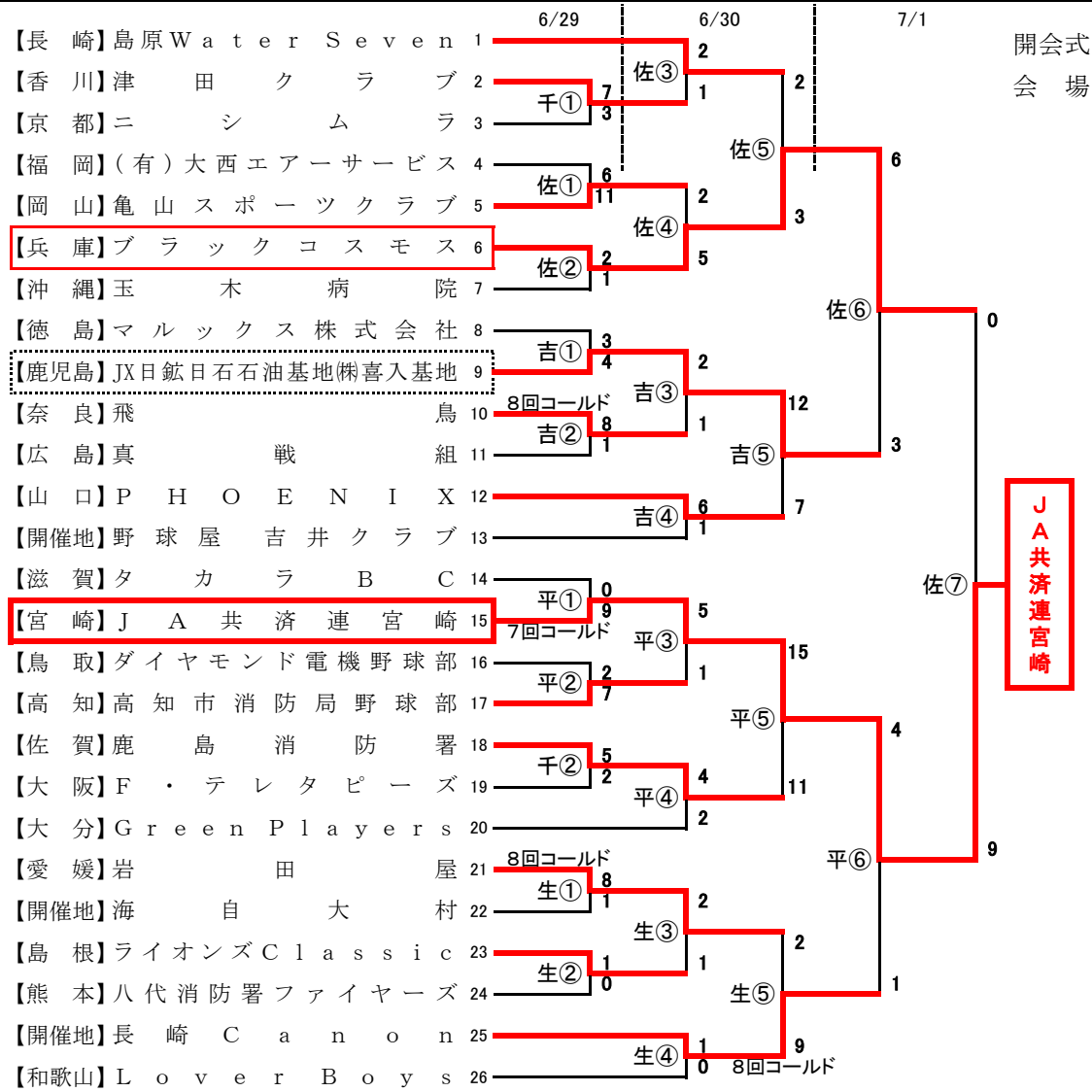
総務委員長　片山　惟精
総務副委員長　森田　昭弘
競技会委員（県連理事）　沼田　浩三　村川　勇　田村　秀文　坂野　憲一
兼元　善啓　古川　豊樹　松本　強　橋口　明敏
森　彰夫　宮口　明　大島　稔一　寺田　辰夫
前田　哲嘉　松本清之進　吉野　徹　山口隆一郎
陶山　裕介　内山　克則　山下英一郎　藤山隆一郎

各会場	会場長	副会場長	会場主任	総務主任	会場審判長	副審判長	記録主任
（佐世保）	佐藤　正美	岩永　武文	近藤　幸男	山浦　康正	鳥羽　敏明	石崎　政尊	井元　　章
（吉　井）	森　彰夫	宮口　明	太田　秀穂	坂野　憲一	佐藤　隆	渡辺　和巳	陶山　裕介
（千鳥越）	寺田　辰夫	門田　勝之	松田　泰彦	永田裕一郎	山辺　等	前川　孝師	北村　英彦
（平　戸）	古川　豊樹	浦田　利男	佐々木雅也	田尻　政樹	山下英一郎	折元　郁朗	桑山　博之
（生　月）	松本　強	岩本　英明	金居　信夫	廣川　聖貴	辻田直太郎	崎尾幸一郎	広本　　弘

長崎がんばらんば国体 リハーサル大会	第35回西日本軟式野球大会2部	会期：平成25年6月28日～四日間

開会式　佐世保野球場　6/28

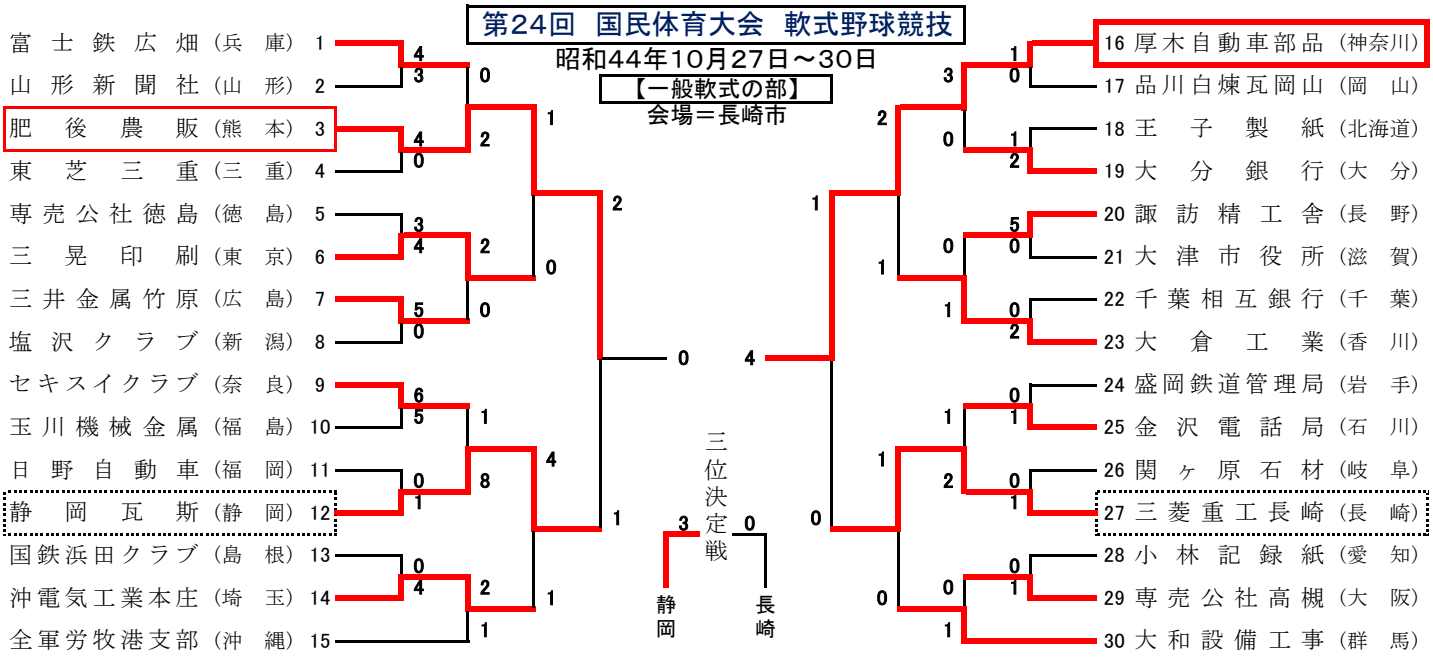
会　場　佐世保野球場
吉井野球場
千鳥越野球場
平戸野球場
生月野球場



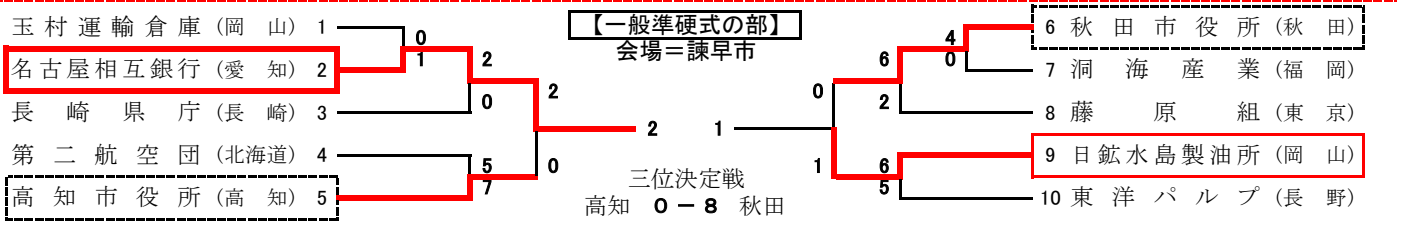
第24回　国民体育大会　軟式野球競技

昭和44年10月27日～30日

【一般軟式の部】
会場＝長崎市



【一般準硬式の部】
会場＝諫早市



三位決定戦
高知　０－８　秋田